



**APPBANK**

# 決算説明資料

---

**2021年12月期 第1四半期**

2021年5月14日

# 注意事項

---

## 資料取扱い上のご注意

このプレゼンテーションで述べられているAppBank株式会社の業績予想、計画、事業展開等に関しましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき判断したものです。

マクロ経済や当社の関連する業界の動向、新たな技術の進展等によっては、大きく変化する可能性があります。

従いまして、実際の業績等が本プレゼンテーションと異なるリスクや不確実性がありますことをご了承下さい。また、大きな変更がある場合は、その都度発表していく所存です。

# 目次

---

**1. ミッションビジョン**

**2. 2021年12月期第1四半期業績実績**

**3. これまでの振り返り**

**4. 成長戦略**

**5. その他**

# 目次

---

## 1. ミッションビジョン

## 2. 2021年12月期第1四半期業績実績

## 3. これまでの振り返り

## 4. 成長戦略

## 5. その他

You are my friend!

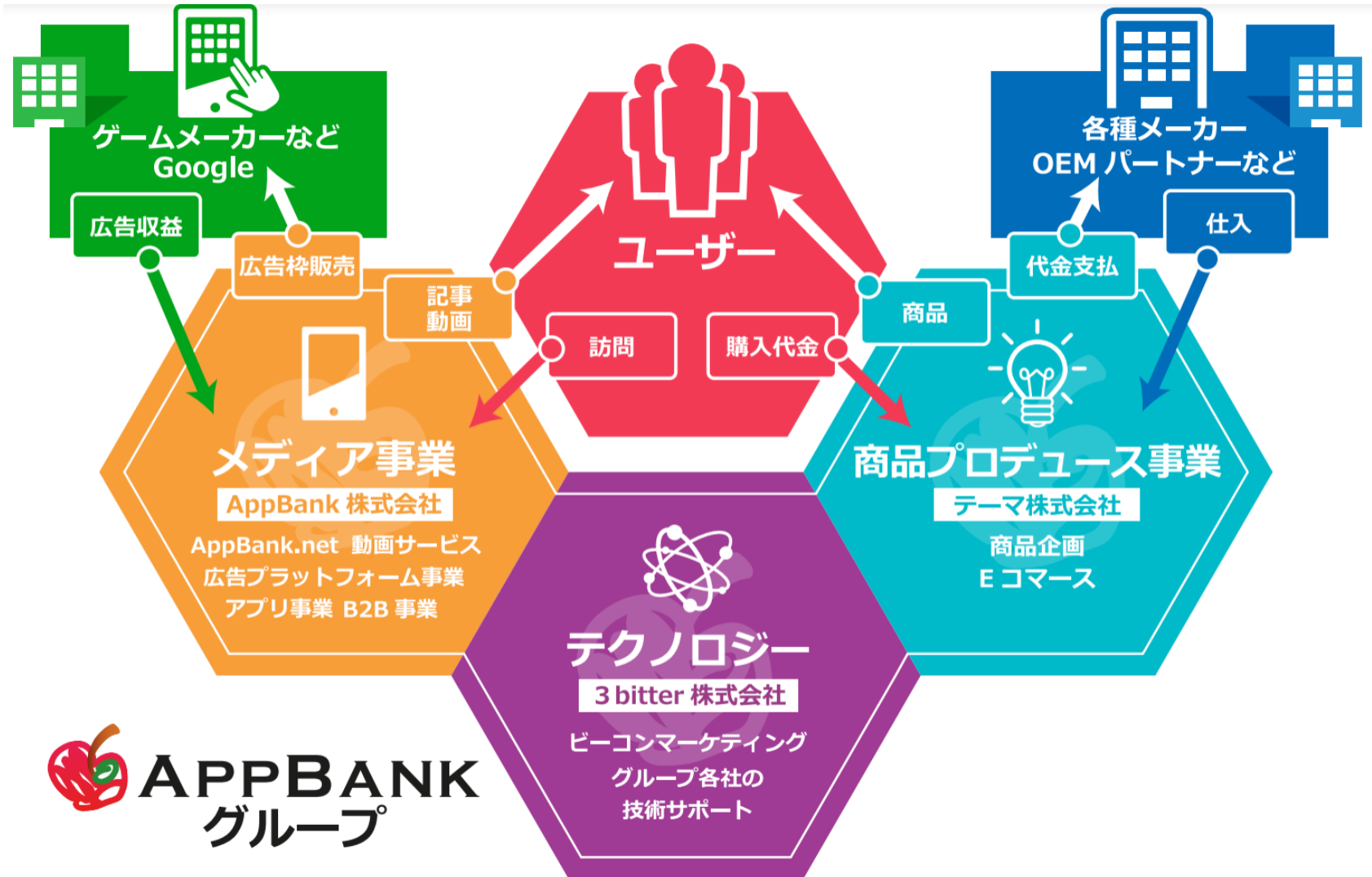
インターネット産業はスマートフォンの登場により、これまで以上に変化のスピードを早めています。そんな中、最先端の情報と技術が集まるこの場所でAppBankは『You are my friend!』を理念として活動しています。非連続的な変化や、はやりすたりが激しい世界だからこそ、ユーザーのみなさま/お客さまとの関係を最も大切にしたいと考えています。

私たちは楽しみながら、遊びながら創造してきました。従業員一人ひとりがユーザーのみなさま/お客さまと共に価値を創り、成長していきたいと考えています。

その実現のために、私たちはみなさまに最も近い存在となったスマートフォンとその周辺分野において人と情報と技術を結びつけ、インターネットが持つ価値をより豊かに実感していただきたくメディアとコンテンツ、そして物販に注力してまいりました。

これからも私たちはこの理念を追求しながら、企業活動を通じて社会に貢献しステークホルダーをはじめ、関わるみなさまに認められ、成長する企業を目指してまいります。

# 事業概要



# サービス説明



## ・動画配信の分野

「YouTube」及び「niconico」を通じて動画コンテンツの提供・公開。うちYouTubeでは、チャンネル登録者約150万人の「マックスむらいチャンネル」「AppBankTV」「KUZRAの山」等を提供・公開

## ・中核メディアサイト「AppBank.net」

2008年のサイト開設以来、iPhoneや、iPhone関連ニュースを中心に提供。

## ・攻略サイト「パズドラ究極攻略」「モンスター攻略」

『パズドラ』や『モンスター』のファン向けアプリは、豊富なキャラデータやダンジョン情報、YouTubeと連携した攻略動画が人気。

# 会社概要

会社名	:	AppBank株式会社	
所在地	:	東京都千代田区	
設立	:	2012年1月23日	
経営陣	:	代表取締役社長CEO	村井 智建
		取締役	染谷 光廣
		取締役	佐久間 諒
		取締役CFO	白石 充三
		社外取締役	上田 祐司
		社外取締役（監査等委員）	松岡 一臣
		社外取締役（監査等委員）	倉西 誠一
		社外取締役（監査等委員）	秋山 政徳
従業員数	:	22名（2021年3月31日時点）	



# 目次

---

1. ミッションビジョン

**2. 2021年12月期第1四半期業績実績**

3. これまでの振り返り

4. 成長戦略

5. その他

# 2021年12月期第1四半期決算 総括

---

1

営業損失が47百万円となり、前年同期営業損失41百万円と比較して  
YoYで損失が若干増加

2

メディア事業においては、売上高76百万円と前年同期における  
売上高66百万円と比較してYoYで増加

3

メディア事業はQonQでは、売上高が増加により、投資による原価率の  
増加を吸収し、損失額は減少

4

黒字化達成のためのコスト削減は、前期にて一巡  
今期より、既存事業・新規事業からの売上増加に注力するフェーズ

# 2021年12月期第1四半期 損益状況

単位：百万円 下段：売上高比		2020年12月期 第1四半期	2021年12月期 第1四半期		
			前期比	増減額	
売上高		313	79	△74.8%	△234
	メディア事業	66 (21.1%)	76 (97.0%)	+15.2%	+10
	ストア事業	254 (81.2%)	1 (1.6%)	△99.6%	△253
	その他	- (-%)	1 (1.4%)	-%	+1
	セグメント間取引消去	△7 (△2.3%)	△0 (△0.0%)	-%	+7
売上総利益		125 (40.0%)	17 (21.9%)	△86.4%	△108
販管費		166 (53.1%)	64 (81.8%)	△61.4%	△102
△：営業損失		△41 (-%)	△47 (-%)	-%	△6
△：経常損失		△42 (-%)	△47 (-%)	-%	△5
親会社株主に帰属する △：四半期純損失		△94 (-%)	△47 (-%)	-%	+47

- ・売上高：メディア事業は増加、ストア事業は前1四半期で(株)AppBank Store株式譲渡の影響で減少
- ・売上総利益：メディア事業で売上高が増加したものの、更なる売上増加を達成するための投資に伴い利益率が減少
- ・販管費：管理本部業務の見直しや各種コスト圧縮により大幅に減少
- ・営業損失：売上総利益減少の影響で営業損失が拡大
- ・四半期純損失：前期において、連結子会社AppBank Store株式の譲渡損56百万円（特別損失）発生

# 2021年12月期第1四半期 事業別状況：メディア事業

単位：百万円 下段：売上高比	2020年12月期 第1四半期	2021年12月期 第1四半期			
			前期比	増減額	
売上高	66	76	+15.2%	+10	
売上総利益	24 (36.9%)	16 (21.5%)	△33.3%	△8	
販管費	69 (104.5%)	59 (77.1%)	△14.5%	△10	
△：営業損失	△44 (-%)	△42 (-%)	-%	+2	

- ・売上高：純広告、アドネットワーク広告など収益全般が増加
- ・売上総利益：将来投資としての原価が増加し、大幅減少
- ・販管費：固定費を中心に販管費の削減はしたものの、売上総利益の減少を吸収するまでは至らず
- ・営業損失：売上総利益の減少したものの、販管費の圧縮にて損失額が減少

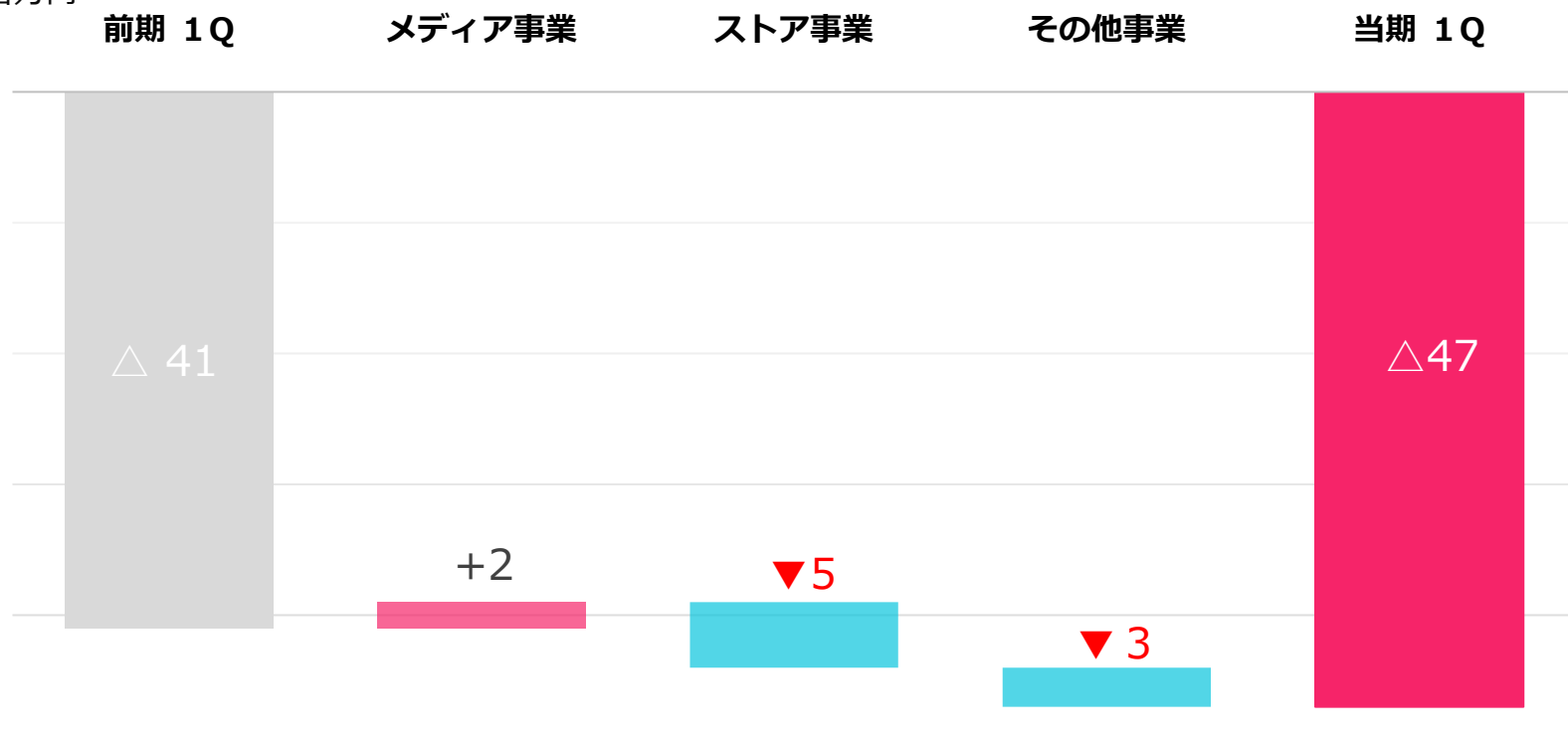
# 2021年12月期第1四半期 事業別状況：ストア事業

単位：百万円 下段：売上高比	2020年12月期 第1四半期	2021年12月期 第1四半期			
			前期比	増減額	
売上高	254	1	△99.6%	△253	
売上総利益	107 (42.3%)	0 (31.7%)	△100.0%	△107	
販管費	106 (41.5%)	2 (122.6%)	△98.1%	△104	
営業利益	3 (1.2%)	△2 (-%)	△166.7%	△5	

- ・2020年12月期第1四半期に、ストア事業セグメントを構成していた株式会社AppBank Storeの株式を譲渡し、連結の範囲から除外
- ・2020年12月期に設立した連結子会社のテーマ株式会社が、ストア事業セグメントを構成

# 2021年12月期第1四半期 営業利益増減（前期比較）

単位：百万円



- ・ 前年同期比で、営業損失が拡大した要因は、ストア事業及びその他事業の売上総利益の減少による
- ・ メディア事業の収益増加及び固定費を中心とする販管費の削減により損失額の圧縮を実現
- ・ ストア事業にて牽引される新規事業が立ち上げ期にあり、投資先行フェーズにある

# 2021年12月期第1四半期 財務状況

単位：百万円 下段：構成比		2020年12月期末	2021年12月期 第1四半期	
				前期比
資産	流動資産	535 (88.6%)	488 (87.8%)	△47
	固定資産	68 (11.3%)	68 (12.2%)	△0
資産合計		604 (100%)	556 (100%)	△48
負債	流動負債	64 (10.6%)	65 (11.7%)	+1
	固定負債	19 (3.1%)	18 (3.2%)	△1
負債合計		84 (35.2%)	83 (14.9%)	△1
純資産合計		519 (85.9%)	472 (84.9%)	△47
負債純資産合計		604 (100%)	556 (100%)	△48

- ・資産：（流動資産）現預金△49／売掛金△3／商品+5
- ・負債：（流動負債）買掛金+4／1年内返済予定長期借入金△12
- ・純資産：親会社株主に帰属する四半期純損失計上△47

# 目次

---

1. ミッションビジョン

2. 2021年12月期第1四半期業績実績

**3. これまでの振り返り**

4. 成長戦略

5. その他

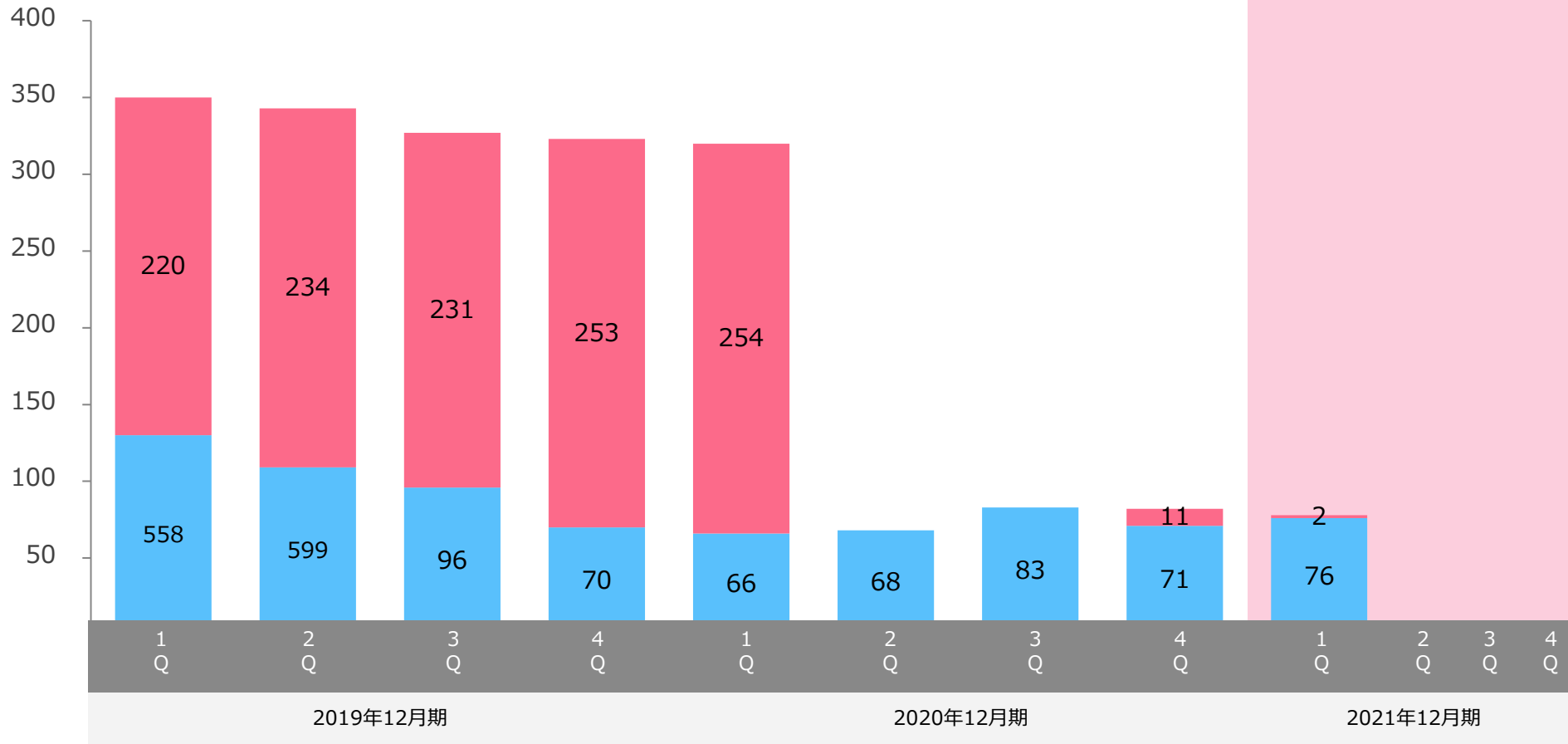


# 事業別状況：売上高 四半期推移

単位：百万円

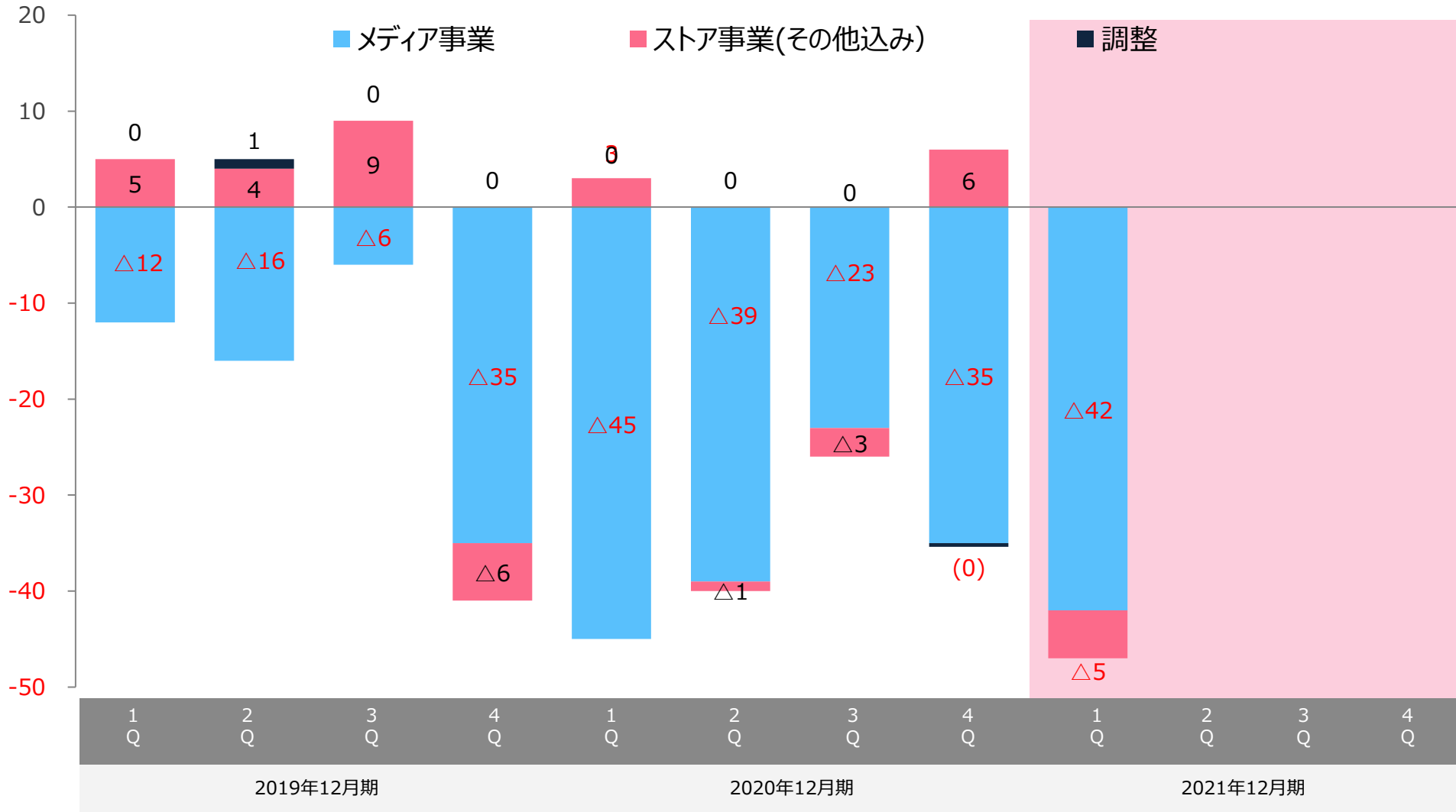
■ メディア事業

■ ストア事業(その他込)



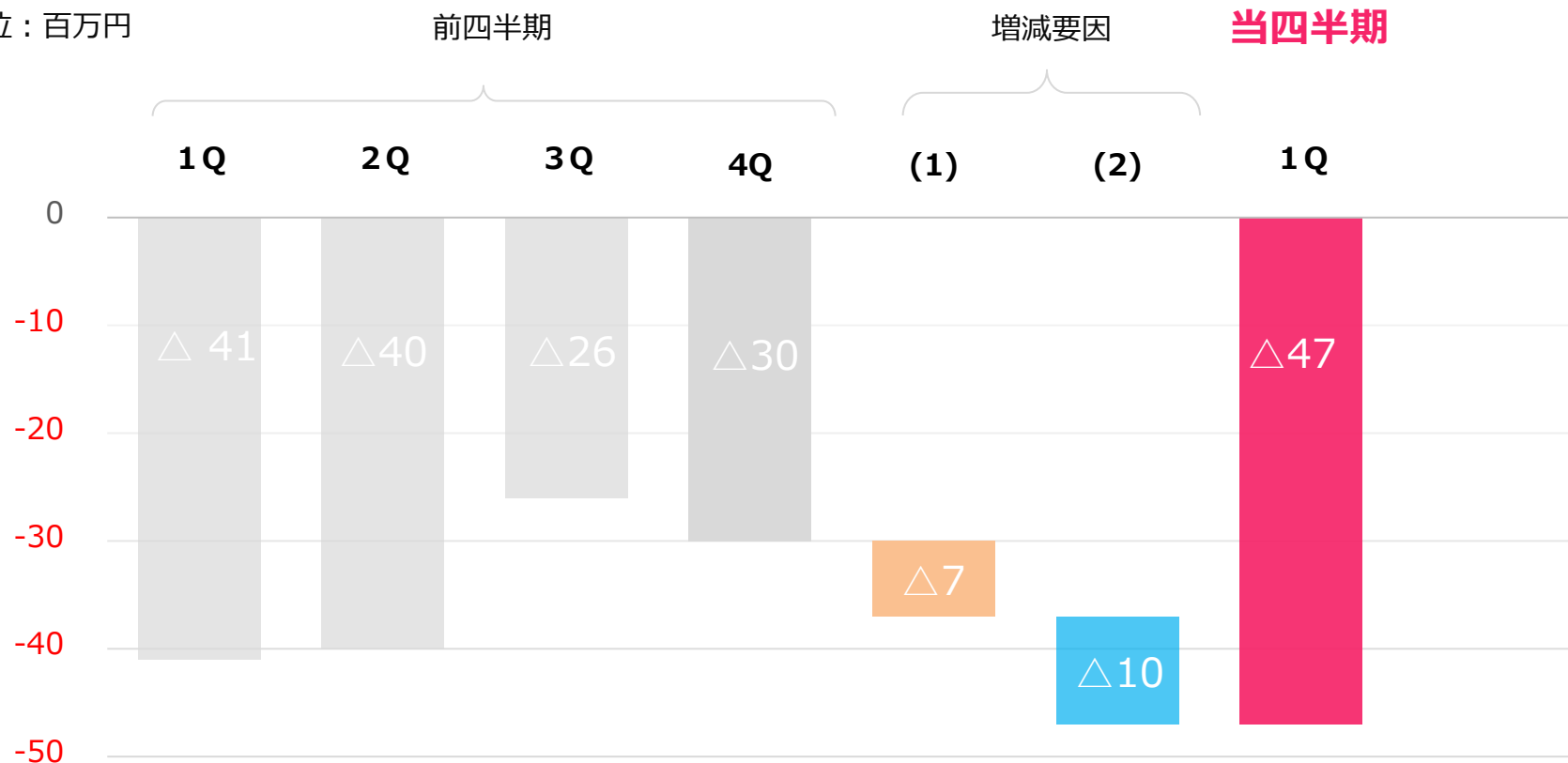
# 事業別状況：営業利益 四半期推移

単位：百万円



# 2021年12月期第1四半期 営業損失増減（四半期比較）

単位：百万円



増減要因

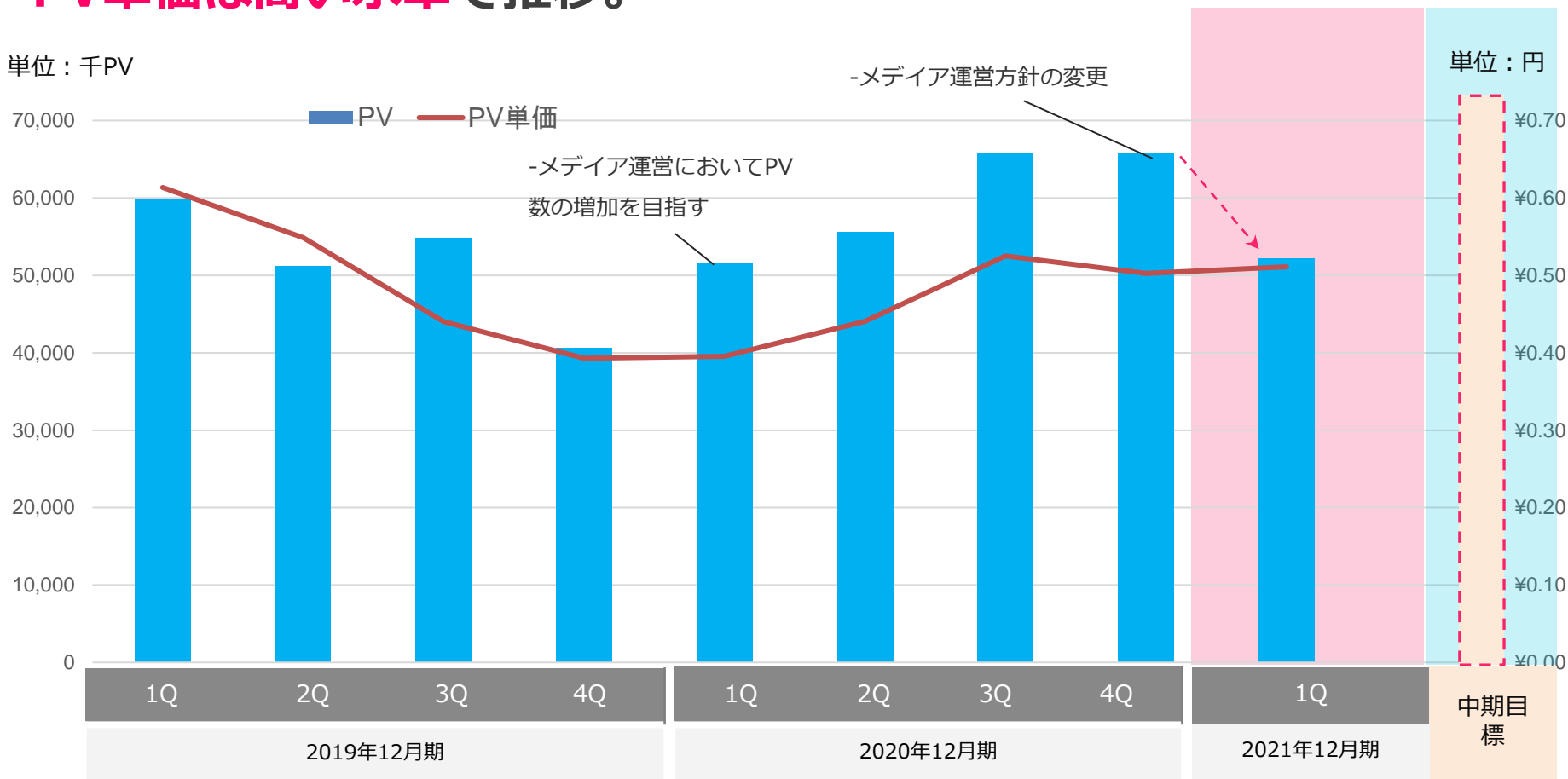
- (1) QonQで販管費（株主優待の費消及び株主総会関連費用等）の増加により損失が拡大
- (2) ストア事業及びその他セグメントにて損失が拡大

# メディア事業 AppBank.netの状況

運営方針の変更により、PVはQonQで**20.8%減少**したものの

**PV単価は高い水準で推移。**

単位：千PV



# 投資フェーズ（前期）の振り返り

---

- **メディア事業**は、コンテンツ・システム投資を重ねながら、売上を増加させ**収益基盤の確立に注力**
- **ストア事業**は、**事業ポートフォリオの再構築**のために AppBank Store株式を譲渡し連結の対象外とした。代わって、新たに設立した連結子会社**テーマで新たに物販事業を開始**
- 固定費を中心とした**コスト構造の見直しは一巡**

# 目次

---

1. ミッションビジョン

2. 2021年12月期第1四半期業績実績

3. これまでの振り返り

**4. 成長戦略**

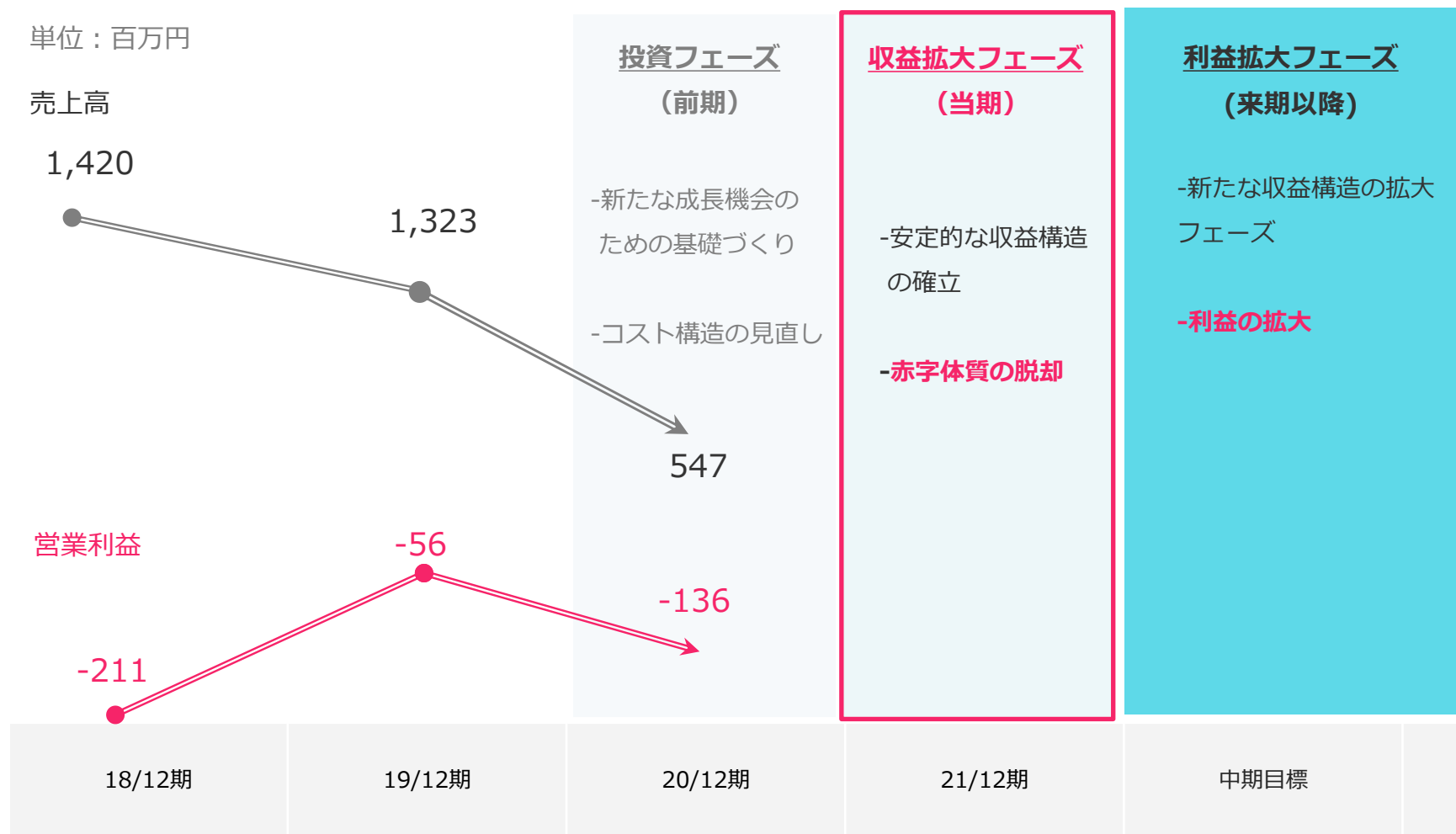
5. その他

脱マックスむらいにおける

収益構造を確立

# 中期目標

## 当期は市場拡大に向けて足腰を固める**投資フェーズ**





# 重点成長施策

---

当期を収益拡大フェーズと位置付けて、前期に実施した投資活動を基礎として、**利益体質**とするため**売上の拡大**を目指す

## ①メディア事業の成長に経営資源を注力

- 「AppBank.net」についてPV単価を維持した上でPV量の増加
- BtoB案件獲得に注力

## ②新規事業をストア事業の中核へ

友竹庵



# ストア事業：炭フードブランド 「友竹庵」

炭フードブランド 「友竹庵」 を発表！ 第一弾 「麺屋 翔」と  
コラボ（2021年4月15日）



村井智建がプロデューサーを務めるメイドインジャパンの炭フードブランド「友竹庵」の立ち上げを発表いたしました。また、あわせて、「友竹庵」の第一弾コラボレーションとして、東京都西新宿に本店を構えるラーメンの名店「麺屋 翔」と共同開発した「塩ラーメン 極黒」を麺屋 翔の、本店、みなと、御徒町にて各店舗毎日10食を限定で販売いたしました。

参考「友竹庵」公式サイト <https://yurinan.net/>

参考：「マックスむらい」公式YouTubeチャンネル

<https://www.youtube.com/channel/UC5Y35HzjHnxi2Dk8Xk8Clw>

参考「KUZRAの山」公式YouTubeチャンネル

[https://www.youtube.com/channel/UC-S\\_cfLqxluw31pWeHLZ-IQ](https://www.youtube.com/channel/UC-S_cfLqxluw31pWeHLZ-IQ)

# ストア事業：人気金沢フルーツ大福「凜々堂」を黒に染める！

真っ黒なフルーツ大福を村井智建プロデュースの #炭フード ブランド「友竹庵」が制作！人気金沢フルーツ大福「凜々堂」を黒に染める！  
(2021年4月22日)



炭フードブランド「友竹庵」の第二弾として、金沢フルーツ大福「凜々堂」とのコラボレーションを発表、「黒フルーツ大福」の販売を決定いたしました。また、本コラボレーションを記念し、原宿にて「友竹庵」のポップアップショップを開催することを併せて発表いたしました。

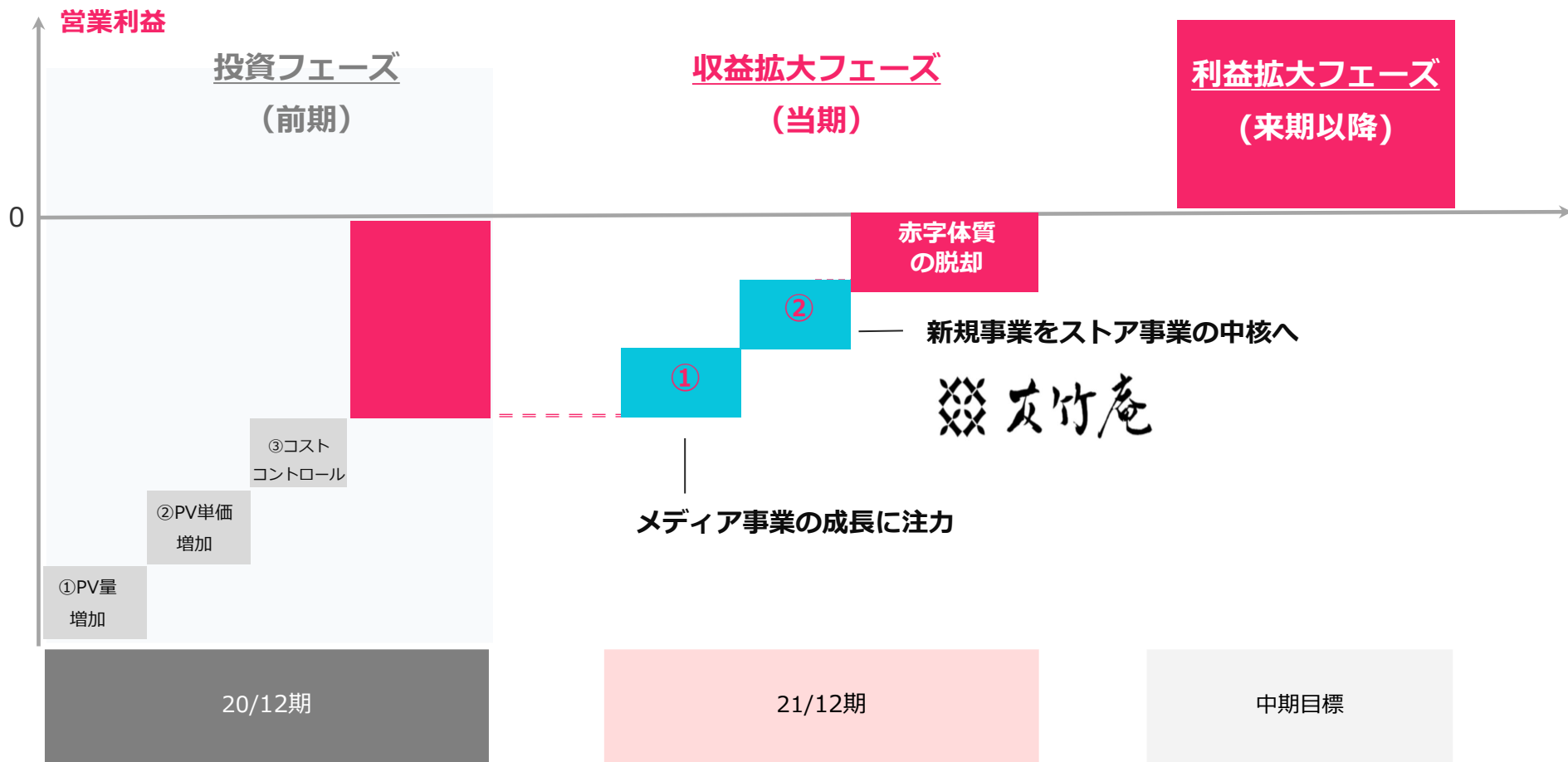
参考「友竹庵」公式サイト <https://yurinan.net/>

参考：「マックスむらい」公式YouTubeチャンネル  
<https://www.youtube.com/channel/UC5Y35HzjHnxi2Dk8Xk8Cllw>

参考「KUZRAの山」公式YouTubeチャンネル  
[https://www.youtube.com/channel/UC-S\\_cfLqxluw31pWeHLZ-IQ](https://www.youtube.com/channel/UC-S_cfLqxluw31pWeHLZ-IQ)

# 営業利益の成長イメージ

メディア事業及びの売上の拡大を軸に赤字幅を縮小し**営業利益の黒字化**を目指す



# 2021年12月期業績予想について

---

## 引き続き21年12月期の業績予想は非開示

インターネット広告業界に軸足を置く、当社メディア事業は不確定な要素が多く、今後とも新興領域で様々なチャレンジを実施していくため、合理的な見込みを算出することは困難であると判断し、業績見込みを非開示としています。

今後とも、四半期ごとに実施する決算業績及び事業の概要のタイムリーな開示に努めると共に業績予想は、合理的な業績予想が開示できる状況になる場合に速やかに開示することを予定しております。

# 目次

---

1. ミッションビジョン

2. 2021年12月期第1四半期業績実績

3. これまでの振り返り

4. 成長戦略

5. その他

# 決算説明会動画の公開について



本決算に係る説明動画は5月下旬を目処に  
「マックスむらいチャンネル」にて公開予定

参考：「マックスむらい」公式YouTubeチャンネル

<https://www.youtube.com/channel/UC5Y35HzjHnxi2Dk8Xk8Cllw>

